

問23 看護補助者の業務

\*看護補助者を配置していない場合は、この問をとばして、次の問24へお進み下さい。

\*「看護補助者」とは、看護婦長及び看護職員の指導の下に、原則として療養生活上の世話(食事、清潔、排泄、入浴、移動等)のほか、病室内の環境整備、ベットメイキング、看護用品及び消耗品の整理整頓等の業務を行う者をさします。

(A)看護補助者は、次にあげる患者への直接ケア業務を日常的に行っていますか。該当するものすべてに○をつけて下さい。

1 他科受診・検査・リハビリ室への輸送	2 洗面介助	3 口腔清拭
4 全身・部分清拭	5 入浴・シャワー介助	6 食事介助
7 排泄介助	8 おむつ交換	9 不穏患者の安全確保
10 歩行介助	11 体位変換	12 患者の話し相手
13 作業療法・リクレーション時の付添	14 寝衣交換	15 その他( )
	16 行っていない	

(B)看護補助者に対する研修内容について、該当するものすべてに○をつけて下さい。

1 業務内容の理解	2 実技実習	3 業務倫理・プライバシー	4 接遇
5 事故防止・感染対策	6 その他( )	7 研修はない	

(C)看護補助者の業務手順・マニュアルの作成をしていますか。

1 している	2 していない
--------	---------

問24 看護補助者の業務についての考え方

(A)看護補助者が患者の直接ケアに関わることについての、基本的小お考えをお聞かせ下さい。最も近いと思われるもの1つに○をつけて下さい。

1 患者への直接ケアは行わない
2 患者への直接ケアには看護婦の指示の元に参加する
3 患者の状態によっては、看護婦の判断の元患者への直接ケアを単独で行うことができる

(B)看護補助者が日常的に直接ケアする場合に、問題と考えられる点を上げて下さい。

1 業務管理が難しい	2 看護婦の指示によって業務を行う体制づくりが難しい
3 教育が難しい	4 能力・体力に問題がある
5 業務分担の明確化が難しい	6 採用が難しい
7 補助者の採用によって看護婦人員が抑えられる	8 その他( )
	9 特にない

問25 貴病院では、病棟単位でケースカンファレンスを行っていますか。

1 全病棟で原則として定期的に行っている
2 原則として定期的に行っている病棟とそうでない病棟とがある
3 全病棟でときどき行っている
4 一部の病棟でときどき行っている
5 行っていない

→SQ 看護婦(士)・准看護婦(士)以外がケースカンファレンスに参加することがありますか。

1 ある
2 ない

→SSQ 原則として毎回参加する職種と、時に参加する職種にそれぞれ○をつけて下さい。

(A)毎回参加	1 医師	2 看護補助者	3 医療ソーシャルワーカー
	4 PT・OT	5 その他( )	
(B)時に参加	1 医師	2 看護補助者	3 医療ソーシャルワーカー
	4 PT・OT	5 その他( )	

問26 付添者数(1995年10月2日現在)

- \*「家族・親戚」「付添婦」別、患者の年齢別にご記入下さい。
- \*「付添者」とは、終日患者のそばにいる者をさします。いない場合は「0」とご記入下さい。

付添がついた患者の年齢		5歳以下			6～64歳			65歳以上			計		
付添者	家族・親戚			名			名			名			名
	付添婦			名			名			名			名

【労働条件】

- \*「看護職員」とは、看護職有資格者をさします。「看護要員」は、無資格者を含みます。
- \*端数がある場合は、少数点以下第1位までご記入下さい。

問27 週所定労働時間(就業規則で定められた時間。所定の休憩時間を除いたもの)

週   時間   分

問28 超過勤務時間(非管理職について、1995年9月の実績)

- \*勤務者一人当たりの平均時間。だれも超過勤務をしなかった場合は「0」とご記入下さい。

病棟：平均   時間    手術室：平均   時間    外来：平均   時間

問29 週休形態

1 週休1日	2 週休1日半(半日とは土曜日などの半日勤務)
3 完全週休2日	4 月3回週休2日(4週7休制も含む)
5 隔週週休2日	6 月2回週休2日(4週6休制も含む)
7 月1回週休2日(4週5休制も含む)	

問30 年次有給休暇

(A)付与最高日数(前年度繰越分を除く)

日

(B)看護職員一人当たりの平均有給休暇取得日数  
(1994年度または1994年の実績)

日

問31 夏期特別休暇日数(年次有給休暇・週休・その他の振替休日として取得させるものを除く。1994年実績)

日(ない場合は「0」とご記入下さい)

問32 施設内保育所

1 ある  
2 ない

SQ1.看護職員の利用    名(1995年10月2日現在)

SQ2.保育時間

1 日中のみ(8時間未満)	2 長時間開設(平日 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間)
3 24時間体制	4 その他( )

SQ3.厚生省の院内保育施設運営補助金を、

1 うけている    2 うけていない

問33 育児休業制度

(A) 育児休業(暇)制度が、  ある  ない

(B) 看護職員の出産・育休利用状況(1994年度実績)

① 1994年度中に出産し、それに伴い産後休暇を取得した者の総数   名  
 うち、育児休業(暇)取得者数   名

② 平均取得期間\*    カ月

\*産後休暇・年次有給休暇を除く。現時点で休暇中の者・取得予定期間も含む。

(C) 現在産休・育休中の看護職員数(1995年10月2日)   名

問34 育児時間の利用状況(1994年度実績)

1 利用者あり   名      2 該当者はいたが利用者なし      3 該当者なし  
 4 その他( )

問35 産前・産後の母性保護及び育児支援措置

\*該当するすべての項目に○をつけて下さい。「法定措置」とは、労働基準法に定められたものをさします。なお、下記の「夜勤」は当直を含みません。

	法定措置	法定以外の措置		
産前	1 夜勤免除 2 夜勤回数減 3 超勤免除	1 特に措置はない 4 通院休暇 6 その他の措置( )	2 時差通勤 5 配置転換	3 つわり休暇
産後	1 夜勤免除 2 夜勤回数減 3 超勤免除 4 育児時間	1 特に措置はない 4 乳児健診時休暇 6 保育所との関係で退院時間に配慮 7 その他の措置( )	2 配置転換 5 育児休業(暇)	3 病児看護休暇

問36 介護休暇(職)制度

1 設けている  
 2 設けていない  
 3 制度としてはないが個別に対応している

問37 看護職員に適用される給与表

\*国家公務員医療職俸給表(三)が適用されている国立施設(国立病院・療養所・文部省など)は、この設問をとばして次の問38へお進み下さい。

1 施設独自の給与表がある  
 2 地方自治体・病院設置主体の上部組織などで定められた給与表を適用している  
 3 その他( )  
 4 体系的な給与表はない

→SQ 国家公務員医療職俸給表(三)とこの給与表を比較した場合、

1 医(三)と同じ内容      2 医(三)に準じ、これをやや上回る  
 3 医(三)に準じ、これをやや下回る      4 無関係

問38 給与例(設定以外の条件は貴病院における代表的な例によりお答え下さい。)

\*設定したモデルに該当する個人が実在しない場合も、そのような例を想定してお答え下さい。

\*「給与総額」は、当該の月に準夜勤4回、深夜勤4回をしたものとしてお答え下さい。なお、超過勤務はしなかったものとします。

(A)看護婦(士)

設 定	基 本 給 与 額				税 込 給 与 総 額			
①初任給：高卒・3年課程養成所卒、 単身で民間アパートに居住				円				円
②モデル賃金：勤続10年、31～32歳、 非管理職				円				円
③中途採用モデル賃金(採用時)：32歳、 経験7年(総合病院)、ブランク3年未満				円				円

(B)准看護婦(士)

設 定	基 本 給 与 額				税 込 給 与 総 額			
④モデル賃金：勤続10年、31～32歳、 非管理職				円				円

(C)看護補助者

設 定	基 本 給 与 額				税 込 給 与 総 額			
⑤初任給：年齢40代後半、 看護補助や介護の経験なし				円				円

問39 看護婦(士)のパートタイマー賃金(勤務帯により一律の場合は、「最高」に記入)

設 定	時給：最高		時給：最低	
(A)日勤帯		円		円
(B)夜勤帯		円		円

【看護職員確保対策】

問40 看護職員の中途採用(管理職登用など特別の場合を除く)

看護婦(士)	1	<input type="text"/>	歳まで	2	特に決めていない	3	中途採用は行わない
准看護婦(士)	1	<input type="text"/>	歳まで	2	特に決めていない	3	中途採用は行わない
助産婦	1	<input type="text"/>	歳まで	2	特に決めていない	3	中途採用は行わない
保健婦(士)	1	<input type="text"/>	歳まで	2	特に決めていない	3	中途採用は行わない

問41 再雇用制度

\*「再雇用制度」とは、出産・育児などに伴いいったん貴病院を退職した女子看護職員が、貴病院への再就職を希望した場合に、募集・採用にあたって特別の配慮をする制度をさします。

1 設けている    2 設けていない    3 制度としてはないが個別に対応している

問42 中途採用実績(1994年度)

(A)正職員として採用  名

(B)採用前の無職期間(ブランク)の有無・期間別人数

○ブランクなし  名

○ブランクあり  名 再掲：3年未満  名 3年以上5年未満  名 5年以上  名

問43 パートタイマー看護職の労働時間(1995年9月の実績)

\*個々の採用時の契約による時間数といたします。

(A)最も短い者 週平均労働時間 


 時間 週平均出勤日数 


 日

(B)最も長い者 週平均労働時間 


 時間 週平均出勤日数 


 日

問44 パートタイマー看護職員の処遇

\*処遇上行っている項目があれば、すべてに○をつけて下さい。

1 定期昇給	2 賞与の支給	3 有給休暇付与	4 勤務時間内の教育・研修
5 管理的な役割を取らせる	6 研究活動参加	7 学生の指導にあたらせる	
8 正規職員への登用	9 その他( )		

問45 看護職員定員充足状況

(A)1995年10月2日現在定員 


 名

(B)1995年度当初の採用予定数 


 名(うち、すでに採用した数 


 名)

問46 看護職員定着状況(1994年度実績)

(A)1994年度はじめの現員数 


 名

(うち、年度末までに退職した者 


 名)

(B)1994年度内の新採用者数(新卒・中途採用含む) 


 名

(うち、年度末までに退職した者 


 名)

問47 看護職員の年齢・勤続年数(勤続年数は貴病院での勤続年数とする)

(A)平均年齢 


 歳

(再掲:看護婦(士) 


 歳, 准看護婦(士) 


 歳, 助産婦 


 歳)

(B)平均勤続年数 


 年

(勤続3年未満の者 


 名 勤続10年以上の者 


 名)

【看護管理体制】

問48 看護部門の位置づけ

(A)貴病院では、病院の組織として、診療部門・事務部門と同様、看護部門も院長直属ですか。

1 院長直属である	2 院長直属でない
-----------	-----------

(B)看護部門の長は、病院の管理運営会議(幹部会議)に出席しますか。

1 出席している	2 出席していない
----------	-----------

(C)貴病院では、看護職が理事職に就いていますか。

1 就いている	2 就いていない	3 該当しない
---------	----------	---------

(D)貴病院では、看護職が副院長の職に就いていますか。

1 就いている	2 就いていない
---------	----------

問49 婦長への昇格

\* 貴病院で婦長への昇格の必要条件となっているものすべてに○をつけて下さい。  
 \* 年数などの定めがある場合はご記入下さい。

1 看護部長(総婦長)の推薦	2 直属の病棟婦長の支持
3 複数の病棟婦長の支持	4 看護部内での何らかの選挙
5 院長の推薦	6 管理者(婦長)試験に合格
7 管理者(婦長)研修の受講	8 一定年数以上の臨床経験 <input type="text"/> 年
9 一定以上の勤続年数 <input type="text"/> 年	10 一定の年齢以上 <input type="text"/> 歳
11 一定の年齢以下 <input type="text"/> 歳	12 一定以上の部署経験 <input type="text"/> 箇所
13 一定年数以上の主任経験 <input type="text"/> 年	14 業務実績
15 研究実績	16 その他( )

問50 看護管理上の課題

\* 次の項目のうち、現在貴看護部門において課題になっているものに○をつけて下さい。

1 基準看護体系から新看護体系への移行	2 新看護体系のより高いクラスへの移行
3 付添看護の解消	4 看護要員の傾斜配置
5 患者の状態による病棟編成	6 夜間勤務等看護加算の取得
7 夜勤体制の変更(一部看護単位での変更を含む)	
8 特定料入院料(看護料を含む包括料金)の導入	
9 その他( )	10 該当する項目はない

→SQ それは、次の中のどの料金ですか。

1 救命救急入院料	2 特定集中治療室管理料	3 新生児特定集中治療室管理料
4 広範囲熱傷特定集中治療室管理料	5 緩和ケア病棟入院料	
6 療養型病床群入院医療管理料	7 老人病棟入院医療管理料	
8 精神療養病棟入院料	9 特殊疾患療養病棟入院料	

問51 看護部予算

\* 看護部教育・研究費、看護関係図書費について、1995年度の病院予算額および昨年度(1994年度)の実績をご記入下さい。予算がついていない場合は「0」とご記入下さい。

(A)看護部教育・研究費	1995年度予算	<input type="text"/>	万円	1994年度実績	<input type="text"/>	万円
(B)看護関係図書費	1995年度予算	<input type="text"/>	万円	1994年度実績	<input type="text"/>	万円

問52 院内教育

\* 貴病院で看護職員・要員に対して実施しているものすべてに○をつけて下さい。

1 新採用看護婦への教育	2 就職後3年目の位の看護婦を対象とした教育
3 リーダー教育	4 主任・婦長教育
5 テーマ別研修	6 看護研究する者へのサポート
7 医療・看護についての新しい情報・知識の講義(職種を限定しないものも含む)	
8 管理者研修(職種を限定しないものも含む)	9 接遇教育
10 病棟クラークの教育・研修	11 看護補助者(介護職員)の教育・研修
12 その他( )	13 院内教育は特に行っていない

【外来看護】

問53 外来看護機能の変化

\* 貴病院においては、外来部門の機能に次のような変化が生じていますか。

1 治療・検査の高度化に伴い外来に長時間滞在する患者が多くなった
2 従来なら入院していた治療・検査が外来で行うことが多くなった
3 療養生活について教育・相談を必要とする患者が多くなった

問54 今後の外来部門の看護要員配置

\*今後の外来部門の看護要員配置について、どのようにお考えですか。

(A)外来部門の看護職員の配置総数

1 増員 2 現状維持 3 削減

(B)外来部門への保健婦の配置

1 配置している → S Q 今後保健婦を、

1 増員 2 現状維持 3 削減

2 配置していない → S Q 今後保健婦を、

1 配置予定 2 配置予定はない 3 検討中

(C)外来部門への事務職員配置

1 配置している 2 配置していない

(D)病棟・外来の看護職員をあわせ一体的に勤務体制(夜勤を含む)を組んでいるか。

1 院内全体で実施 2 一部診療科・病棟で実施  
3 実施していない

問55 外来での滞在時間が4時間を超える患者数

\*外来で検査・治療を受けるため来院した患者で、待ち時間を除いた外来での滞在時間が4時間を超える患者がいますか(健康診断・1日人間ドッグの受診者、人工透析を受ける患者は除きます)。

--	--	--

名 (9月24日から9月30日までの1週間または直近の1週間についてお答え下さい。)

【病院のめざす方向性】

問56 病棟の編成

(A)現在の病棟編成の基本的な方針は、次のうちどれですか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

1 診療科中心 2 患者の状態別  
3 看護目標別 4 その他( )

(B)では、今後はどのような病棟編成をお考えですか。

1 診療科中心 2 患者の状態別  
3 看護目標別 4 その他( )

問57 病院の機能

(A)次の項目のうち、現在貴病院において課題として取り組んでいるものがありますか。

	1 取り組んでいる	2 検討中	3 取り組みを考えていない
(1)高度専門医療	1	2	3
(2)老人専門医療	1	2	3
(3)救急医療	1	2	3
(4)在宅医療	1	2	3
(5)リハビリテーション医療	1	2	3
(6)慢性疾患患者の療養指導	1	2	3
(7)終末期医療	1	2	3
(8)エイズ医療	1	2	3

(B)貴病院では、次のものを併設していますか。

	1 併設している	2 検討中	3 併設していない
(1)在宅介護支援センター	1	2	3
(2)訪問看護ステーション	1	2	3
(3)老人保健施設	1	2	3

問58 4年制看護大学・看護系学部卒業者の採用

(A) 貴病院看護職員のなかに4年制看護大学・看護系学部卒業生がいますか。

1 いる 2 いない	→	SQ 何名いますか。	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	名
---------------	---	------------	--	---

(B) 今後の4年制看護大学・看護系学部卒業者の採用についてどのようにお考えですか。

1 採用したい	2 採用は考えていない
---------	-------------

問59 今後の看護要員配置計画

\* 今後3年間の看護要員の配置計画についてお尋ねします。

保健婦(士)	1 増員予定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	名	2 現状数を維持	3 削減予定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	名		
助産婦	1 増員予定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	名	2 現状数を維持	3 削減予定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	名		
看護婦(士)	1 増員予定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	名	2 現状数を維持	3 削減予定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	名
准看護婦(士)	1 増員予定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	名	2 現状数を維持	3 削減予定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	名
看護補助者	1 増員予定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	名	2 現状数を維持	3 削減予定	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	名

問60 看護管理者の属性

\* 看護部の長ご自身についてお尋ねします。

(A) 性別 

1 女性	2 男性
------	------

(B) 年齢   歳

(C) 看護部長としての経験年数   年  
 SQ 再掲：うち、現病院看護部長としての経験年数   年

(D) 雇用形態 

1 正規職員	2 嘱託	3 その他( )
--------	------	----------

(E) おまじつかえなければお名前と所属をご記入下さい。外部に公表することはございません。本調査の結果のニュースレター等をお送りする予定の際の名簿や、今後一部の項目について追加調査の必要が生じた場合等の名簿として活用させていただきたく存じます。

看護部長のお名前 病院名 所在地 電話番号 FAX番号
---

問61 日本看護協会へのご意見・ご要望がありましたら、お聞かせ下さい。